

最も速達の新聞紙なり

明治九年 創立 中外商業新報

實業新聞の元祖たる中外商業新報は其報道の迅速なる記事の精確なる既に満天下の知る所なり今や商海の實勢一變して商人たる者寸時も油断のあらぬ時となれり此時に於て中外商業新報は平常機敏の眼識を以て更に非常の奮發をなし實業社會に於ける燈明臺たるの實を擧げんとするの計畫を立てられたり依て其大販賣店たる弊店の如きも此際十分速達法を設け諸君の満足を求めんとす乞ふ此好機會を失はず陸續御注文被付仰度奉願候也

中外商業新報の速達 同新報は毎日其の當日最も早く速達すへし故に横濱東京の商況を知るに最も便利なり

横濱生糸其他貿易市場の實況 は同地に於て發行するものと等しく毎日午後夕刻迄の商況を詳細に記載して細大洩らす所なく日々横濱貿易市場に在て其實況を目撃するに異ならず實に比類なき實業新聞なり

中外商業新報特有の便益 中外商業新報は既に實業社會の指南たる普通新聞に優れること多きは近來世人が認識して稱賛する所なり從て毎日の紙頁も概ね本紙六頁附録四頁都合拾頁として實業及び政治上の事件を神速詳報し讀者をして商業新聞と普通新聞とを並讀するの便を得せしむ是れ本紙特有の便益なり

廣告之効力 中外商業新報は發行紙數の非常に多きが上にも重なり豪商紳士の間に愛讀せらるゝが故に紙面の廣告は他に比して効力最も大なり故に其廣告は其効力も一層大なるべし

中外商業新報廣告料 (前金)	一日限	二日以上	七日以上
一行五號活字廿三字詰	十四錢	十一錢	十一錢
一行に付	三十五錢	三ヶ月 一圓	
中外商業新報	定價前金一ヶ月	一圓八十八錢	一ヶ年 三圓六十錢

羽前鶴岡五日町

特約大販賣店

小池藤次郎

尙全國各府縣各市町には必ず中外商業新報の販賣店あり何卒各地の販賣店より就き御購讀被下度候

愈々本日解停の恩命を得たり

解停後の中外商業新報

停止前に比して一層の改良を加へたり
解停後は更なる十倍の光彩を放たんとす

朝鮮事件

今や破裂して朝鮮京城は干戈動き砲烟彈雨東洋の天地を蔽ふの日迫れり我社既よ三國の事情に精通せる特派員對濤生を出張せしめ彼の事情は通信電報細大漏らさず一として他に先たゞざるなし而して尙特派員増遣の準備中なり故に此事件の報道は天下復た本社よ及ぶなし是れ實例の證する所なり

横濱系況

を報する日々の入荷、手合、取引結果に夕場の景況に至るまで皆翌朝の本紙に詳載し且つ蠶糸業上の記事は海の内外を問はず皆之を掲ぐるに獨り本紙あるのみ

米穀株式

の景況を報じ市場の趨勢掛引の細微を穿ち而して其迅速なる獨り本紙あるのみ

綿糸織物石油肥料綿

の景況は從來頗る詳細を極めたるが今後更に一層精密迅速に勉めんとす

銀價及外國爲替

日々海外の電報あり變動の原因を詳にし將來の趨勢を豫報して餘蘊なし

商工業界の變動

は朝鮮事件の爲め大に注意すべきものあり之を報する我社の獨得なり特に

金融市場

の波瀾は其詳其精他の及ばざる所なり

東京日本橋區三代町一番地

七月廿六日

中外商業新報 商況社